

## 令和7年度 第1回築上町総合計画等推進本部会議 議事録

1. 日 時 令和7年10月1日(水) 9:50~10:45

2. 場 所 築上町役場 会議室3-1

### 3. 出席者

#### ① 構成員

|            |             |
|------------|-------------|
| 町長         | 新川 久三(本部長)  |
| 副町長        | 八野 紘海(副本部長) |
| 教育長        | 久保 ひろみ      |
| 企画財政課長     | 椎野 満博       |
| まちづくり振興課長  | 首藤 裕幸       |
| 人権課長       | 横内 秀樹       |
| 住民生活課長     | 西田 哲幸       |
| 税務課長代理     | 中 浩二郎       |
| 保険福祉課長     | 吉川 千保       |
| 産業課長       | 北代 幸介       |
| 建設課長       | 神崎 秀一       |
| 都市政策課長     | 尾座本 三雄      |
| 上下水道課長     | 福田 記久       |
| 会計課長       | 石井 紫        |
| 子育て・健康支援課長 | 山田 里美       |
| 学校教育課長     | 則松 裕司       |
| 教育施設整備室長   | 樽本 知也       |
| 生涯学習課長     | 種子 祐彦       |
| 監査委員事務局長   | 古市 諭恵       |

※欠席(参考)総務課長 鍛冶 孝広、議会事務局長 桑野 智

#### ② 事務局(企画財政課)

舛川 千菜美  
辻上 亮

### 4. 会議経過

1. 開会
2. 本部長挨拶
3. 議題

- ① 次期総合計画策定方針、策定体制及び策定スケジュール等について
- ② 第3期築上町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき令和6年度に実施した事業の効果検証結果について（報告）

#### 4. 閉会

### 5. 議事内容

- ① 次期総合計画策定方針、策定体制及び策定スケジュール等について
- 事務局から議題①内容について説明を行った。

#### 【質疑及び意見】

なし

- ② 第3期築上町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき令和6年度に実施した事業の効果検証結果について（報告）

- 事務局から議事②の内容について説明を行った。

#### 【質疑及び意見】

・（町長）数値目標1の「25歳から44歳までの女性の社会増減数」が一番大事であり、この女性の数を減らさないように、あるいは増やすことが目標の1番目ではないか。

→（企画財政課）社会減少は対策ができる場所なので、全課で協力してさらに充実した施策を考えていくことが重要である。

・（保険福祉課長）25歳から44歳までの女性に対する施策を打たないと、社会減少は改善しないと考える。駅前の空き家などを活用したチャレンジショップ的な施策を女性に限定し、住民票を移すことや資金援助を行うなど、子育てだけではない対象への支援が必要ではないか。

→（企画財政課）施策を考えるにあたり、住民と行政が対話できる場が必要である。例えば、行政主催の定期マーケットの中でブースを作り、やりたい人への相談の場を常設するなど、対話ができる場を設けることを検討したい。

・（企画財政課）新規創業者数（令和6年度実績14人）について、どのような業種の方が新規で創業されたのか、また女性・男性の割合など、把握されている業種別の情報は教えてもらえるか。

→（産業課長）現在は人数のみ把握しているが、調べれば分かるので、商工会に聞いて確認したい。

・（保険福祉課長）駅前は寂しく、建物もなくなっている。駅前に居住空間と子育て支援ができるような環境を整備すれば、女性の数が増えるのではないか。

→（副町長）駅周辺は便利が良いため、住めるようにして女性が働き、子育て支援ができる状況になれば、女性の数が増えるかもしれない。アパート（賃貸）はかなり増えている。

・（企画財政課）空き店舗バンクや女性の就業といった課題は、まちづくり振興課や産業課だけでなく、人権課など複数の課にまたがる事業となる。

→（企画財政課）今後も複数課が関係する新しい事業が増えてくるので、まちづくり、産業、企画などが定期的に打ち合わせをし、施策を検討していくことで、単独の課では動きにくいことも継続して進めていきたい。

・（教育施設整備室長）基本目標２の「子育てしやすいと感じる割合」（実績値 55.6%）が減少している要因は何か。

→（企画財政課）統計上の揺れと捉えており、大きな変化があったわけではないが、改善はしていない状況である。多くの子育て支援を実施しているが、その恩恵が実感値に反映されていないのが難しい問題である。

・（教育施設整備室長）子育てしやすいと感じる割合が低いのは、残りの 44.4% の人が不満に思っている内容が分からないため、そこを改善しないと満足度が上がってこないのではないか。不満に思っている要因は把握できているか。

→（企画財政課）このアンケートは全町民をランダムに抽出した「まちづくりアンケート」の設問の一つであり、子育て世帯のみを対象としたものではないため、子育てに関わりのない方の回答も含まれ、数値が低く出ている可能性がある。

・（教育施設整備室長）「子育てしやすいと感じる割合」のアンケートについては、過去の子ども関係の計画策定時のデータと比較するか、もしくは聞く対象を子育て世帯に限定した方がよいのではないか。

→（企画財政課）抽出対象を絞ることは可能だが、母数（400 前後）から子育て世帯となるとかなり減り、有効性がなくなる可能性もある。しかし、趣旨からすると対象を子育て世代に絞ることは有効と思われるので対象を絞ることや、こども・若者総合計画時のアンケートなど個別計画のアンケートから数値引用することも検討する。

・（副町長）新図書館や大型遊具の整備で人は集まるだろうが、どう町に住んでもらうかが重要である。特に宅地が不足しており、自衛隊員なども土地がないため他所に流れている。農地転用が難しい現状がある。

→（町長）非農用地設定の土地を、農業委員会と早く話し合って増やす努力をしてほしい。

・（町長）自治会に防災組織はあるが、活動が充実していない。自主防災組織の活動を充実

させるような施策が必要ではないか。

→（企画財政課）現在、再編の働きかけにより活動を再開した自主防災組織もある。総務課の担当になるので、継続して働きかけを行っていく。

・（保険福祉課長）「通いの場」について、まちづくり振興課が支援金（3万円）を追加交付し、保険福祉課担当者も非常に熱心に取り組んでいた結果、初年度で目標を達成できたこと（30箇所）は良かった。

→（企画財政課）今後も継続して支援してもらいたい。

以上